

八戸市議会議長 壬生 八十博 様

議会改革推進委員会

委員長 藤川 優里

## 議会改革推進委員会からの答申（第2回）について

このことについて、当委員会において協議いたしました議会改革事項について、その協議結果を次のとおり答申いたします。

## 記

## 協議内容

## ○ 議員定数の見直しについて

議員定数の見直しについては、行財政改革の視点、類似都市との比較、更には、市政の将来の予測や展望に十分に考慮し、昨年8月から協議を進め、途中、議員定数の見直しについてのパブリック・コメントを実施し、市民の意見・要望等も参考に、議員定数の議論を深めて参りました。

パブリック・コメントへの対応については、全会派一致で議長に報告し、改革を進めている一方、議員定数の見直しについては、削減が必要という意見が大勢の中で、具体的な定数等については、意見の一致をみることが出来なかったことから、各会派の意見を答申することとなりました。

会派等	自由民主・市民クラブ、公明党、無所属議員
意見	議員定数を4人削減し、28人とする。
主な理由	人口20万以上30万人未満の市の議員1人当たりの市民の数8,125人を基に八戸市の人口に当てはめると、議員定数は28.3人と算定され、また、削減を実施している青森市を例にすると、26人と算定されるところでありますが、将来推計人口や連携中枢都市圏の中心市としての役割等を考慮し、28人が適正な議員数と考える。
会派等	きずなクラブ
意見	議員定数を2人削減し、30人とする。
主な理由	人口20万以上30万人未満の市の平均議員定数は30.5人と算定されるため。人口減少問題など地域の課題に取り組み、行政をしっかりと監視する役目を担うため、適正な議員数の確保は必要と考える。
会派等	新緑・無所属の会
意見	議員定数は、徐々に削減すべき。
主な理由	多様な住民の意見を議会に反映する上で、適正な議員数の確保は必要であり、議員定数については、パブリック・コメントで寄せられた市民の意見を尊重した上で、慎重に議論し、徐々に削減すべきと考える。
会派等	日本共産党議員団
意見	議員定数を削減せず、32人とする。
主な理由	地域の多様な住民の声を市政に反映して議会運営を行う上で、32人の定数は必要であり、パブリック・コメントで寄せられた市民の意見を尊重し、現時点で、議員定数を削減する必要はないと考える。